

文化フォーラム2011

来聴歓迎

聴講無料

事前申し込み不要

日時 2011年10月29日(土) 13:00~17:00

共通テーマ 海女文化を活かす

報告

13時~15時

- 都びとのあこがれ — 歴史に見る「観光海女」—
.....塚本 明 (三重大学人文学部教授)
- 海女文化をどう捉えるか
.....菅原 洋一 (三重大学工学研究科教授)
- 海女の世界遺産登録を目指して
.....石原 義剛 (三重大学客員教授・海の博物館館長)

~ 休憩 (15時~15時15分) ~

濟州島の海女さんたちによる海女歌 + 左恵景氏(濟州島海女博物館)の解説

15時15分~

パネルディスカッション

[石原・菅原・塚本+フロア]

16時15分~17時

会場

海の博物館 1階ホール
鳥羽市浦村大吉1731-68

問い合わせ先

海の博物館 TEL.0599-32-6006

三重大学 担当教員

菅原 洋一(工学研究科)、塚本 明(人文学部)



かもめバス

鳥羽バスセンター 10時52分発石鏡港方面行き、
海の博物館 11時26分着
* 鳥羽バスセンターは、近鉄鳥羽駅東側100mです。

- <主催> 三重大学・鳥羽市・海の博物館
- <協賛> 中部電力(株)・海女サミット実行委員会
- <後援> 志摩市・鳥羽磯部漁業協同組合・三重外湾漁業協同組合・鳥羽市観光協会・
志摩市観光協会・鳥羽商工会議所・志摩市商工会・三重ティーエルオー

文化フォーラム2011

日時 2011年10月29日(土) 13:00～17:00

会場 海の博物館 1階ホール

共通テーマ 海女文化を活かす

歴史上の海女文化、現在の海女研究を紹介し、海女文化を今後どのように伝え、活かしていくかを考えます。

報告

13時～15時

都びとのあこがれ ―歴史に見る「観光海女」― 塚本 明 (三重大学人文学部教授)

昔から志摩の海女は、詩に詠われ、浮世絵に描かれるなど、内陸に住む都びとにとって憧れの存在でした。近代以降には、真珠と共に志摩の象徴となり、国内外の博覧会でも活躍します。単なる漁業者ではない海女さんの魅力を考えてみます。

海女文化をどう捉えるか 菅原 洋一 (三重大学工学研究科教授)

これまで海女文化を理解するために、様々な視点からの研究がなされ、研究者、関係者の交流も進んできました。三重における「海女研究会」の活動を中心にその取組を整理し、海女文化を活かし、発展させていくための課題と可能性を考えて行きます。

海女の世界遺産登録を目指して 石原 義剛 (三重大学客員教授・海の博物館館長)

日本と韓国にしか居ない「海女」は、資源や環境の保全にも貢献していますが、後継者不足等により消滅の危機にあります。「海女」を無形世界遺産に登録することで、その伝統を再生保持し、新しい地域共同体のモデルを構築できないかを考えます。

～ 休憩 (15時～15時15分) ～

濟州島の海女さんたちによる海女歌 + 左恵景氏(濟州島海女博物館)の解説 15時15分～

韓国からご招待した海女さんたちに、労働歌で、濟州特別自治道の無形文化財に指定されている「海女歌」を御披露頂きます。

パネルディスカッション [石原・菅原・塚本+フロア] 16時15分～17時

報告を受けて、フロアの皆さまも交え、自由に議論したいと思います。

三重大学のホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>

鳥羽市のホームページ <http://www.city.toba.mie.jp/>

海の博物館のホームページ <http://www.umihaku.com/>

三重大学文化フォーラムのホームページ .. <http://www.lib.mie-u.ac.jp/seminar/forum/index.html>